

高知大29度目V

四学に2-0 全国へ

四国大学トーナメント

サッカーの四国大学トーナメント最終日は14日、香川県生島サッカー場で決勝戦が行われ、高知大が四国学院大を2-0で下し、2年連続29度目の優勝を果たした。高知大は全国大会(2021年1月開催予定)に出場する。

高知大は前半2分、DF河村のクロスでDF田中が決めて先制。22分には相手キーパーが出したパスを、ペナルティーエリア付近でMF浜野がカット。パスを受けたMF

▽決勝

高知大 2(2-0) 四国学院大
0-0 0 院大
▽得点者 高 田中、奥崎



【四国学院大ー高知大】前半22分、高知大のMF奥崎⑧がシュートを決めて2-0として喜ぶ(香川県生島サッカー場)

奥崎が2点目のゴールを奪った。今季は新型コロナウイルスの影響で、夏の全日本地区からは四国大学リーグ

攻守に意地 王者に雪辱

前半から2得点を奪った高知大。四国では負けない(田中主将)意地の戦いでトーナメント連覇を飾った。

四国学院大は今季の四国大学リーグ王者。高知大はリーグ戦で2戦とも0-2で敗れている。2度とも試合展開はほぼ同じ。序盤から猛攻を受け、流れを取り返せないまま終わっていた。この日は、その逆の展

本大学トーナメントが中止となり、冬の全日本大学選手権(インカレ)と合わせた特別大会を来年1月に行う予定。四国地区からは四国大学リーグ

開になった。試合の入り口に集中する。田中主将は「攻めてくる相手以上に攻めようと決めていた」。2度の敗戦を分析する中、相手が攻撃に枚数をかける時に生まれるサイドの隙に気付く。前半はボールを奪ったら、サイドから攻め立てた。開始2分、右サイドを駆け上がったDF河村からのクロスで田中が右足で合わせて先制する。この1点で主導権を握れた」と宮武監督。守りでは相手に素早く寄って警戒していた個人技やスピードある縦の攻めをほとんど封じた。

前線のプレスが効いたのは22分。相手キーパーが中途半端に出したパスを、MF浜野が見逃さずカット。そのパスを受け、MF奥崎が素々と決めて追加点。攻守に見せた意地で、相手に付け入る隙をほとんど与えず、無失点で勝利した。田中主将は「今日はプライドで勝った。全国でも意地を見せ、最低でも16強入りしたい」と健闘を誓った。(久保俊典)

▽第9節
愛媛大 2(1-1) 聖カタリナ大 1
6点 11-0 1 3点
◆サッカー 県U-18リーグ(14日・春野多目的広場ほか)
▽1部

9点	11点	12点	18点	16点	明徳	西	▽1部
高知S	高知商	高知工	明徳	西	徳	西	▽1部
4	1	6	1	1	1	1	▽1部
13	0	5	0	0	0	0	▽1部
1	1	1	0	0	0	0	▽1部
2	0	1	0	0	0	0	▽1部
1	1	1	0	0	0	0	▽1部
3	1	4	3	1	7	1	▽1部
0	1	1	0	1	0	1	▽1部
点南	点佐	点津	点内	点豊	点豊	点豊	▽1部